

令和元年度原子力防災訓練等の検証結果と対応（概要）

原子力防災初動対応訓練（9/1実施）、オフサイトセンター運営訓練（9/11実施）及び原子力防災訓練（10/30実施）の主な検証結果と対応は次のとおり。

	検証結果	対応（令和2年度当初予算計上等）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラインド（シナリオ非開示）での訓練実施及び状況付与の充実、災害対策本部とオフサイトセンター（県現地災害対策本部を含む）との情報共有における役割・連携の継続した検証等の実施が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力災害時の緊急事態区分がより進展した状況（全面緊急事態：伊方町全住民の広域避難）を想定した災害対策本部運営訓練をブラインドで実施し、オフサイトセンターとの情報共有体制の強化、要員の対応能力向上等を図る。 <p style="text-align: right;">（原子力防災体制強化事業費【拡充】）</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風向きによる放射性物質の拡散、避難時の渋滞、複合災害時の道路寸断等についての住民不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気中放射性物質濃度の測定機器の整備等により、環境放射線等の監視体制の強化を図る。 <p style="text-align: right;">（環境放射線等監視体制強化事業費【新規】）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伊方町内において車両の離合可能箇所の設置等を実施することにより、避難円滑化を図る。 <p style="text-align: right;">（原子力防災避難円滑化モデル実証事業費【継続】）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、発電所の事故の状況や避難方法のほか、気象や避難路の状況等を内容とした住民への情報伝達訓練を実施する。 <p style="text-align: right;">（原子力防災体制強化事業費【拡充】）</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集における実効性が確認できたドローンについて、今後も習熟度向上に努めるとともに、効果的な運用の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドローン運用研修や訓練を継続して実施するとともに、飛行ルート設定の自由化など、ドローンの更なる活用について検討を行う。 <p style="text-align: right;">（原子力防災ドローンオペレーション強化事業費【継続】）</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ より円滑な避難のため、各会場（一時集結所等）における住民誘導方法、避難退域時検査場所における車両動線、住民への情報提供内容等について検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、関係機関と連携した訓練を企画・実施し、避難計画のより一層の実効性向上を図る。 <p style="text-align: right;">（原子力防災体制強化事業費【拡充】）</p>